

ジュニアリーダーズクラブと広報活動

文責 :あにい(Junior-Leader.com)

webmaster@junior-leader.com

【広報って? ~はじめに】

いきなりですが、ここで問題です。

『広報』とは、なんでしょう?

こうほう 【広報】

官公庁・企業・各種団体などが、事業内容や活動状況を一般の人に広く知らせ、理解を求めること。また、その知らせ。「活動」

三省堂『大辞林』には、このように書いてあります。

そのままの意味で理解すると、団体が外部に向けて行う宣伝・PR・コマーシャル等が『広報』である...ということになります。

今回は『JLC と広報活動』ということで、JLC 外向けの広報についても取り上げますが、それ以上に『内向けの広報』...JLC 内での会員向けの広報活動についても取り上げていきます。

【広報の手段 ~媒体の違い】

JLC が広報を行うのには、以下のような手段(媒体)が考えられます。

- JLC 発行の広報紙や手紙などの『紙ベースの媒体』
- 自治体発行の広報や新聞などの『既存の媒体』
- ホームページなどの『インターネット』

これらの手段(メディア)にはそれぞれ特徴があり、長所・短所ともあります。

『紙ベースの媒体』

- 長所 目的に合わせて柔軟な利用が可能
直接的な手段なので親近感・手作り感がある
- 短所 広く配布しようとする手間がかかる
ある程度の文章力やレイアウト力を要求される

『既存の媒体』

- 長所** 簡単に情報を配信でき、確実に対象者の手元に届く
自治体広報や新聞など、一定の信頼感が得られる
- 短所** 一度に多くの情報は伝えられない
他の情報の中に埋もれてしまう可能性がある

『インターネット』

- 長所** 居ながらにして広範囲に情報を配信できる
いつでも都合のよいときに最新の情報を見てもらえる
- 短所** 情報を発信するにも受けるにも端末とスキルが必要
継続的な情報の更新には労力を要する
いつ誰に見られるかわからないため、情報の内容に細心の注意を要する

それぞれの長所と短所をよく理解し、目的によって手段 (媒体) をうまく使い分けることが大事です。

それぞれの長所を生かし短所を補うためにはどのようにすればよいのか、
みんなで考えてみましょう。

≡ それぞれの媒体の実例を見てみましょう ≡

- 越谷市ジュニアリーダーズクラブ <http://members.tripod.co.jp/JLK/>
 - 石狩市リーダーズクラブティーンズ「ひかり」
<http://www.junior-leader.com/ishikari/>

【広報紙を作ってみよう ~ 実習】

では、実際に広報紙を作るにあたってのポイントをおさえていきましょう。

◆ 内容を決める ... 「どんなことを書けばいいの？」

広報の重要さは誰もが理解していると思います。

でも、内容はイベントや行事が終了した後の記事（いつどこでこんな行事がありましたという報告）に終始しがちではないでしょうか。

これでも決して悪くはありませんが、一度読んでしまった後は「紙」の必要がなくなってしまうし、人によっては読んでもらえないこともあるかもしれません。

できれば、色々な情報（記事）を織り込むことによって「紙」の価値を高め、一部分だけでも読んでもらえるような魅力のある広報にしましょう。

（例） 報告」... 行事やイベントの様子を伝える記事など

告知」... 先の行事予定や、参加者の募集など

雑記」... コラムや編集後記など、読んで楽しむ趣旨のみの記事

◆ 文章を書く ... 「どうやって書くの？」

先にも書いたとおり、『紙ベースの媒体』による広報を作成しようとする、どうしてもある程度の文章力が要求されます。

長い文章を書くことを苦手とする人もいます。

記事の内容によっては写真やイラストなどが中心になるものもありますが、文章抜きに広報紙を作ることはできません。

どのように書けば読みやすい上手な文章を書くことができるのでしょうか。

【クリエイティブライティングの手法】

まずは、思いつくことをすらすらと書いていきます。

自分が体験したこと、考えたことなどを思ったままに書いていきましょう。

あっちへ行ったりこっちへ行ったり、思いつくまま書きなぐればいいです。

それぞれが独立した短い文がたくさんできあがるのではないのでしょうか。

これらには、自分が一番言いたいことが記述されていると思います。

ある程度の文を書き終えたら、今度はそれらを繋ぎ合わせて文章として整えましょう。

最終的に、要点がまとめられた、読みやすい文章が出来上がっていれば完成です。

(全子連 HP(<http://www.kodomo-kai.or.jp/>)より)

◆ デザイン・レイアウト ... 「見やすいレイアウトとは？」

文章を書き進めていくと、つい長くなってしまったりしがちです。

文章抜きに広報紙を作ることはできませんが、だからといって長すぎる文章も読む側に負担を与えるとともに『読む気』を無くさせるものです。

文章も含め、全体のデザイン・レイアウトを考慮して、見やすく情報がしっかり伝わる広報紙に仕上げましょう。

【デザイン・レイアウトとは】 (整理・簡素化・ポイントの強調・緊張感)

整理・簡素化

物作りという言葉より、複雑な要素をより単純にまとめるのがデザインです。

ポイントの強調

紙面内において第一に伝えたい要素を探し理解することからスタートしましょう。

フォントおよびレイアウトについて

文字を組むにあたって、まず文章を読む。写真など材料をよく見る。

要素の順番

初めて読む読者の立場で、内容が理解できるような順番に原稿が整理されているか。

文章だけでなく写真など材料も含め、どれを強調すれば、より分かりやすくなるか。

頭の中で整理してみる。

[レイアウトをする]

内容によって、文字が主体になったり、写真やイラストを強調する場合がある。

文章や材料の魅力を理解した上で、全体の構成やメリハリを考える。

(全子連 HP(<http://www.kodomo-kai.or.jp/>)より)